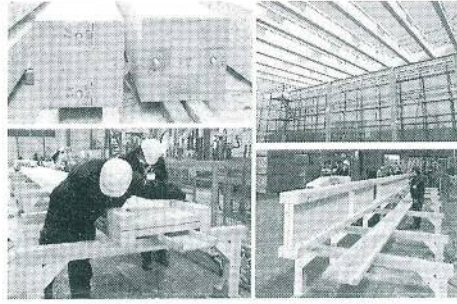


2016年度グッドデザイン賞

ポラスフレームシステムなど4点

ポラスグループ

ポラスグループ（埼玉）耐火性能を有する木製玉鼻越谷市、中内晃次（合成柱・梁「ポラスフ



一般流通材の組み合わせで1時間準耐火の性能を確保した

レームシステム」PF S 合わせ梁・合わせ柱・重ね梁（ポラス暮し科学研究所）など4件で、2016年度グッドデザイン賞を受賞した。これでグッドデザイン賞の受賞は14年連続、受賞点数

は通算30点となった。

PF Sでは、木造大空間を実現するために一般流通材を束ねて断面を大きくし、大断面

集成材と同等の構造性能を持つ1時間準耐火構造の部材を開発した。一般流通材を使うことでコストを抑え、

納期対応もしやすくした。合わせ梁は、住宅用に使用する幅のラミナを積層した特注サイ

ズの集成材を横に並べてポルトで緊結。合わせ柱は9本の集成柱を

使用し、構造躯体となるよう十文字に組んだ柱の周りに、残りの4本の柱を合わせて、火

災時に構造躯体の炭化を防ぐ部材として建築用ボンドで接着したもの。重ね梁は、住宅用の構造用集成梁を鉛直方向に積層し、最大スパン16mを可能にした。

1時間準耐火部材として、燃えしろ設計ではなく、燃え残った部材断面で強度を計算して使用する手法を取った。これらの部材はポラス建築技術訓練校の実習棟で採用された。

このほか、中央グリーン開発、ポラス暮し科学研究所が開発した「G-キューブ」は、

独立柱と基礎をつなぐ柱脚金物で、屋外のテラス屋根などを支える柱に使用することを想

定したものの。

ポラテックの「ハウス アイ」は風、光、緑を取り込むライトコートがある家。

中央住宅のコモン創出型戸建て分譲開発

「浦和美園スマートエネルギー特区 つなぐ庭のある街区」でもグッドデザイン賞を受賞した。